

# 若竹

第四十八号



再発足三十五周年 奉告祭〈於：愛媛県神社庁 神殿〉

## 愛媛県神道青年会

事務局 〒790-0934  
松山市居相二丁目2番1号  
伊豫豆比古命神社内  
TEL 089-956-0321  
FAX 089-956-3323

# 巻頭言

愛媛県神道青年会

会長 十亀 博行



常日頃より愛媛県神道青年会に対しまして格別なる御理解御協力を戴いております事、衷心より厚く御礼申し上げます。この度、愛媛県神道青年会の会長を仰せつかる事となりました。諸先輩方が築き上げてこられた青年会。そしてその会長という責務の重さに改めて身の引き締まる思いがしております。一期二年という間ではございますが何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、当会におきましては本年三十五周年の節目の年を迎える事となり、記念事業を計画する中、去る五月十六日に記念式典並びに祝賀会を開催させていただきました。

きました。愛媛県神社庁 長曾我部延昭庁長・神道青年全国協議会 久富真人会長を始め数多くの皆様に御参集戴きました事、重ねて御礼申し上げます。この三十五周年を迎えるにあたり、数多くの資料を紐解き、また先輩方のお話しを伺わせて戴きました。やはりその時代、その時代に活躍された先輩諸賢の「熱意とこころ」に改めて頭の下がる思いが致しました。先輩方が培ってこられた礎をより強固な物にし、次世代へ繋ぐ為、私達現会員は斯界の尖兵として、「今何をすべきか」「何をしなければならぬか」を共に議論を交わし、充実した三十五周年事業となる様に邁進していきたいと思ひます。

また、今年度は役員会や各種事業を行う中で、愛媛県内の会員との色々な交流を深めていきたいと思っております。執行部では昨年に引き続き部会制度(教化部・広報部・総務部・事業品開発部)を取り入れ、例年の各種事業をより充実させていき、また新役員からは活発な意見が出ております事は大変喜ばしい事であり、また、当会としても直面的に四十年の歴史を振り返り、当会は年齢的に四十歳以上の青年神職にて構成され、中には神社奉務のみ、もしくは兼職の方がい

らっしゃいますが、現在活動されている会員が限られているという現実があります。これを少しでも解消いたしたく役員会を愛媛県内(東予・中予・南予)にて行い、終了後夕刻(十九時頃)より「勉強会」を開催し、平成二十五年に行われる神宮式年遷宮や大麻頒布、また自己研鑽となる様な内容を検討し、神職としての資質の向上を目指し、会員に幅広くお集まりいただきたく思っております。

今後の主な活動は後記の活動計画をご覧戴ければと思ひますが、私達は皇室の尊厳護持運動・靖國神社、護国神社の英霊顕彰運動を中心として時局問題や神宮式年遷宮の国民総奉賛活動に目を向け、青年としての行動力と情熱を傾注する事を目標に考えております。

若さ故走りすぎる事も有ろうかと思ひますが、行動を起こす為にはまず一歩前に足を踏み出す事が大切であると思っております。先輩諸賢の叱咤激励を頂戴し、斯界の更なる発展と興隆の為に会員同志と共に進んで参りたいと思ひます。

結びにあたり、まだまだ浅学非才の身ではあります、新役員共々に御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。言葉足らずで有りますが、就任の挨拶とさせていただきます。

# 【愛媛県神道青年会 新体制】

任期 平成十九年四月一日

平成二十一年三月三十一日

二年間、宜しくお願ひ申し上げます。

- 会長 十 亀 博 行 (石鐘神社 権宜)
  - 副会長 小 野 哲 也 (石鐘神社 宣司)
  - 副会長 阿 部 茂 之 (石鐘神社 権宜)
  - 副会長兼事務局長 長曾我部 信 弥 (伊豫豆比古命神社 権宜)
  - 理事 大 岡 忠 徳 (石鐘神社 権宜)
  - 理事 田 内 逸 知 (石鐘神社 権宜)
  - 理事 榑 部 淨 之 (石鐘神社 権宜)
  - 理事 玉 井 秀 行 (石鐘神社 権宜)
  - 理事 三 輪 田 壽 道 (石鐘神社 権宜)
  - 理事 後 藤 雅 彦 (伊豫豆比古命神社 権宜)
  - 理事 清 家 貞 文 (八幡神社 権宜)
  - 理事 武 智 和 剛 (徳川神社 権宜)
  - 理事 池 田 文 志 (愛媛縣護國神社 権宜)
  - 監事 和 氣 省 一 (大宮八幡宮 宮司)
  - 監事 長曾我部 昭一郎 (伊豫豆比古命神社 権宜)
  - 相談役 三 輪 田 泰 生 (和靈神社 権宜)
- 尚、十亀会長は神道青年全国協議会総会副議長に  
長曾我部監事は神道青年全国協議会理事に  
各々就任致しました。

## 慰問神楽

### 八幡浜崇敬会

当会の恒例の活動である「慰問神楽」。本年は三月十七日、我が町八幡浜で開催されました。

例年慰問神楽は保育園や老人ホームを中心に訪れていましたが、今年「八幡浜崇敬会」の要望に応える形で準備を進めてまいりました。

「八幡浜崇敬会」とは八幡浜市内の各神社総代会や氏子会代表、神社の宮司や若手神職などで組織する会で、次代を担う子供達に日本の伝統文化の良さを知ってもらう、かつての鎮守の杜の賑わいを取り戻そうと平成十七年十月に発足。第一回として地元八幡浜市内の唐獅子競演大会を開催したのに続き、今回が二回目の活動となりました。

毎年慰問神楽をご奉仕させて頂いている小生にとりまして今回は奉仕者でもあり、また主催者でもあったので、いろいろな面で勉強させて頂きました。企画から運営に至るまで実に一年以上に亘る準

備の末の演奏会でありました。演目は以下の通りです。

一、悠久の舞 (巫女舞)

二、弓の舞 (伊予神楽)





三、越殿楽 (雅楽)

四、楽器紹介 (雅楽)

五、陪臚 (雅楽)

六、豊栄の舞 (巫女舞)

七、大蛇の舞 (伊予神楽)

演奏終了後は餅つきをして餅を振舞いました。(室内であった為に餅撒きは断念しました。)

今回の演奏会を神社関係に留まらず、マスコミ、学校関係に広く呼びかけましたが、子供の参加が少なかったのが反省点でした。当日、他の行事等と重なる子供たちが分散してしまい、ただでさえ少子化が進むこの地域ですますます行事への参加の難しさを肌で痛感しました。

しかしながら、会場に来た方から「初めて観て感激した」「八幡浜でこのような素晴らしい演奏が聴けるとは思いもしなかった」など感想を聞くにつけ、主催者の苦勞が報われたのでは、と思った一日でした。  
(清家 貞文)

### 平成十八年度神道青年全国協議会中央研修会 宮崎

平成十八年度神道青年全国協議会が神道青年九州地区連絡協議会主管、宮崎県神道青年会担当として去る平成十九年三月八日・九日の両日、宮崎市は宮崎観光ホテルを会場に当会より和気会長を始め

九名の会員が参加しました。

今回の研修テーマ主題「肇國(ちやうこく) 皇祖発祥の地で皇室の尊厳護持を誓う」と題し開講。宮崎県ならではの内容で、研修会が始まりました。第一講は元産能大学教授安本美典先生が「神武天皇東征伝承」と題し、神武天皇が日向より発ちて東征し、初代天皇となられた古事記・日本書紀等の資料を基に講演されました。第二講では高千穂神社宮司後藤俊彦先生の「御皇室と日本の国柄」と題し講演を拝聴し、我々神職が皇室を中心として発展してきた一筋の道を示し、少しでも成果が出るよう邁進していくかなければならないと感じました。翌日は最近放映されました「硫黄島からの手紙」などで多くの方がご存知の陸軍中将栗林忠道について「栗林中将と日本人」と題し、早稲田大学文学部教授の留守晴夫先生から壮烈な戦死を遂げる迄の見事な生涯を辿りつつ日本文化について御講演いただきました。

この研修を受講し、日本は皇室を中心に生成発展し、国難に際しては、常に神武創業に基づき新しい御代が成就して



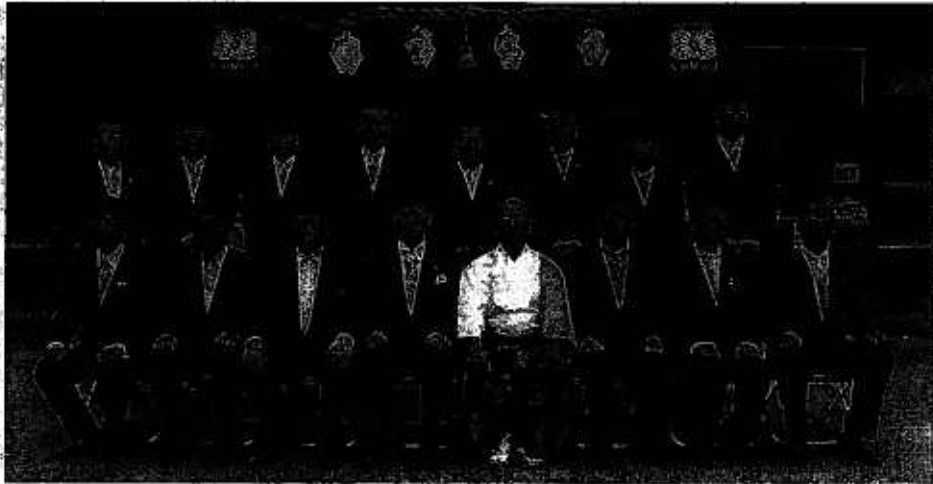
愛媛県神道青年会  
再発足三十五周年  
記念式典並びに祝賀会



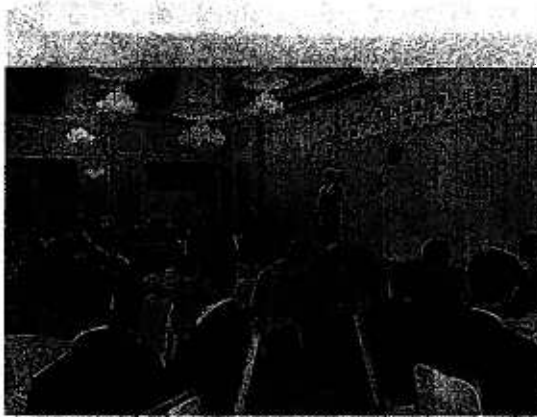
去る五月十六日(水)、松山市内の国際ホテル松山に於いて愛媛県神道青年会再発足三十五周年記念式典並びに祝賀会が盛大裡に開催されました。

当日十亀会長以下役員一同は、記念式典に先立ち松山市内に鎮座致します伊豫豆比古命神社を正式参拝。再発足三十五周年事業の無事遂行を祈念し、その後境内に於いて神道青年全国協議会第五十九回定例総会にて頂戴致しました悠仁親王殿下のお印となっております『高野槿』の苗をお健やかなる御成長をお祈り申し上げ記念植樹致しました。

記



記

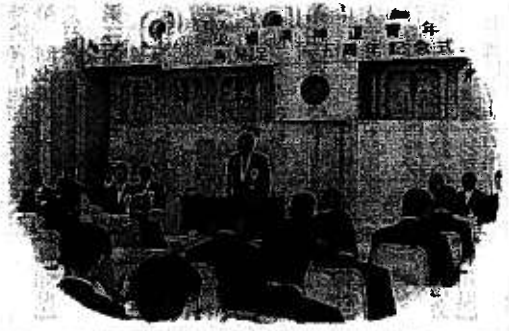


そして会場に移動定時総会后、午後五時より愛媛県神社庁長曾我部延昭庁長を始め役員の皆様方、県内を始め当会に関わり深い諸先輩方、そして全国各地より神道青年全国協議会久富真人会長を始め多数の御来賓諸先輩方をお迎えし、志を同じくする会員同士に参集を戴き、六十一名が参加して盛大に記念式典を開催。まず開式の辞・神宮遙拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領唱和に続き十亀会長が挨拶され、昭和四十七年四月発起準備委員会が開催され、同年八月二十七日初代和田将信会長を中心として十七名の

会員で発会した経緯や当時よりの活動内容、今後我々が斯界の尖兵としてやらねばならぬ心構えや情熱を語られました。

その後、三十五周年記念事業実行委員会和気委員長より再発足三十五年の歩と記念事業が報告され、御来賓を代表して愛媛県神社庁長曾我部庁長と神道青年全国協議会久富会長より御祝辞を賜り、青年神職としての誇りと見識を以て積極的に活動し神社界また社会に影響を与えて戴きたいとお言葉を頂戴致し、「神道青年の歌」美はしき山河を斉唱後、聖寿万歳を申し上げ閉式致しました。

引き続き祝賀会が開催され、会長挨拶の後愛媛県神社庁十亀副庁長と神道青年全国協議会伊奈副会長より祝辞を賜り、愛媛県護国神社波爾宮司様の乾杯を以て和やかな雰囲気の中懇親を深め愛媛県神



社庁菊地副庁長の手締めにて恙なく祝賀会を納め、記念式典並びに祝賀会とも無事盛大に終了しました。

今後これを機に、先輩諸賢が歩まれた道を踏まえつつ諸活動を始め諸行事を未来に向かつて邁進して行かなければならないとつくづく思いつつ御報告と致します。

(大岡 忠徳)

### 第三十六回定時総会報告

去る五月十六日(水)、松山市内の国際ホテル松山に於いて平成十九年度第三十六回定時総会が開催されました。

当日は、再発足三十五周年記念式典並びに祝賀会の関係もあり、午後二時三十分より二十四名の会員の出席(委任状三十名)にて開会され、十亀会長挨拶の後議長が選出され、議案審議に移りました。

議案審議では、平成十八年度の会務報告、並びに決算報告がなされ、また次年度の活動計画や再発足三十五周年事業に関する件・予算についての議案が慎重に審議、総て全会一致で可決され閉会致しました。

今年度は、再発足三十五周年事業として京都御所の清掃奉仕や愛媛の伝統文化IN道後。また当県担当の神道青年四国地区協議会第十三会定例総会並びに研修会、また野外体験親睦会の石鎚山登拝や各東中南予での勉強会など会員が参加して行われる行事が多数あり、今後の理解と協力を呼びかけ無事終了致しました事を御報告致します。

(大岡 忠徳)

平成十八年度会務報告

平成十八年

起・平成十八年四月一日  
至・平成十九年三月三十一日

四月 十七日 会計監査会・第一回役員会  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下十名出席)

二十六日 神青協第五十八回定例総会  
〔本社本庁・皇居〕  
神青協総会講演会・皇居参観  
(会長以下三名出席)

五月 九日 第二回役員会「いよてつ会館」  
(会長以下十三名出席)  
第三十五回定時総会並びに懇親会  
〔同〕  
(来賓含め三十一名出席)

十六日 神道青年四国地区協議会  
第一回役員会  
(会長以下三名出席) 〔高知県〕

六月 九日 第三回役員会  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下十名出席)

七月 一日 会報「若竹」第四十六号三発刊  
三 日 女子神職会総会(愛媛県神社庁)  
(武知理事出席)

二十六日 第四回役員会  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下五名出席)

八月 二 日 神道青年四国地区協議会  
三 日 第十二回定例総会並びに研修会  
(香川県) 〔香川県〕  
(会長以下七名出席)

十 日 京都府神道青年会  
十一 日 石鐘山登拝同行  
(会長以下四名出席)

二十三 日 野外体験親睦会 〔高知県〕  
二十四 日 (会長以下大人十名子供九名出席)

二十六 日 神道青年全国協議会夏期セミナー  
二十 日 〔本社本庁〕  
〔長官我部副会長以下三名出席〕

九 月 四 日 初詣送迎バスツアー発送作業  
第五回役員会(愛媛県神社庁)  
(会長以下七名出席)

八 日 第二十四回朝日神楽の夕べ  
〔同) 〔高知県〕  
(会長以下三名出席)

十九 日 神道青年四国地区協議会  
第九回総会(高知県)  
〔高知県〕  
〔長官我部副会長以下四名出席〕

二十 日 神道青年四国地区協議会  
第二回役員会  
〔高知県〕  
〔長官我部副会長以下四名出席〕

十 月 十一 日 神青協臨時総会  
〔本社本庁〕  
(会長以下十名出席)

二十八 日 愛媛県神社庁協議会  
〔愛媛県神社庁〕  
(会長出席)

二十五 日 第六回役員会  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下十名出席)

十一月十三 日 第七回役員会  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下十名出席)

二十五 日 三島森田両烈士顕靈祭  
〔伊豫豆比古命神社〕  
(会長以下十三名出席)

十二月 五日 神道青年四国地区協議会  
第三回役員会 〔愛媛県〕  
(会長以下六名出席)

同 神道青年四国地区協議会  
親睦ホウリング大会  
(会長以下十六名出席)

二十三日 悠仁親王殿下御誕生奉祝パレード  
参加 〔松山市大街道・銀座街〕  
(会長以下十名参加)

平成十九年

一月 十八日 年頭正式参拝〔愛媛県護国神社〕  
(会長以下七名出席)

同 第八回役員会(国際ホテル松山)  
(会長以下十二名出席)

同 臨時総会・新年研修会〔同〕  
〔歴代会長座談会〕  
(会長以下五十二名出席)

同 新年互礼会  
(来賓会員総勢三十三名出席) 〔同〕

二月 十一日 建国記念の日奉祝大会  
十六日 香川県神道青年会  
設立五十五周年記念式典〔香川県〕  
(会長以下二名出席)

三月 八日 神道青年全国協議会中央研修会  
〔高知県〕  
(会長以下九名出席)

十三日 第九回役員会 〔石鐘神社〕  
(会長以下八名出席)

十七日 慰問神楽 〔八幡浜商工会館〕  
(会長以下五名奉仕)



愛媛県神道青年会  
平成18年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増減(△減)	付 記
1 会 費	800,000	686,000	△114,000	年会費・定時総会費・新年互礼会会費・監査慰労会会費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁助成金
3 寄 付 金	1,300,000	1,507,000	207,000	県内神職寄付金・諸事業助成金
4 雑 収 入	177,311	253,482	76,171	神青協事業還付金・事業収入(床几頒布他) 慰問神楽謝礼(八幡浜崇敬会)
5 繰 越 金	432,689	432,689	0	平成17年度より
歳入合計	2,910,000	3,079,171	169,171	

歳出の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	750,000	678,115	△71,885	定時総会・新年互礼会・役員会・地区協役員会・ 監査会費用
2 研修教化	550,000	429,600	△120,400	親月神楽・慰問神楽・地区協総会研修会参加費(7名分) 中央研修会参加費(9名分)・夏期セミナー参加費(3名分)
3 事 業 費	400,000	241,500	△158,500	初詣啓発ポスター作成費
4 広 報 費	250,000	118,660	△131,340	若竹46号作成・発送・ホームページ維持費
5 事 務 費	150,000	120,733	△29,267	領収書他事務用品・振替手数料・事務局手当
6 備 品 費	10,000	0	△10,000	
7 旅 費	350,000	422,000	72,000	神青協出向補助・中央研修会参加者助勢
8 慶 弔 費	50,000	35,000	△15,000	慶弔金
9 分 担 費	305,000	279,000	△26,000	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	20,000	15,000	△5,000	京都府神青へ土産品
12 予 備 費	25,000	0	△25,000	
歳出合計	2,910,000	2,389,608	△520,392	

歳入合計 3,079,171 円

歳出合計 2,389,608 円

差引残高 689,563 円

平成19年度に繰越

平成19年4月12日 愛媛県神道青年会 会長 和気 省一 提出

上記の通り相違ない事を認めます

平成19年4月12日

監事 眞 鍋 豊 孝 ㊟

監事 三輪田 泰 生 ㊟

平成十九年度活動計画

- 四月 十二日 再発足三十五周年奉告祭(愛媛県神社庁)  
会報「若竹・第四十七号」発刊
- 同 四月 十六日 第一回 役員会(伊豫豆比古命神社)
- 同 四月 二十四日 神道青年全国協議会
- 同 五月 十六日 第二回 役員会(国際ホテル松山)
- 同 第三十六回 定時総会(国際ホテル松山)
- 再発足三十五周年事業
- 記念式典並びに祝賀会(国際ホテル松山)
- 同 六月 六日 神道青年四国地区協議会
- 同 六月 二十日 第一回 役員会(香川)
- 同 第三回 役員会(南予)
- 同 第一回 勉強会
- 七月 一日 会報「若竹・第四十八号」発刊
- 七月 十八日 第四回 役員会(東予)
- 八月 七日 第五回 役員会(国際ホテル松山)
- 八月七・八日 神道青年四国地区協議会
- 第十三回 定例総会並びに研修会(愛媛)
- 同 八月 十八日 第四回野外体験親睦会「石鎚山登拝」
- 同 八月 十九日 神道青年全国協議会夏期セミナー(神社本庁)
- 同 九月 十二日 神道青年四国地区協議会

【神青協】

【地区協】

【地区協】

【神青協】

- 九月 十三日 第十回 神道行法錬成会(高知)
- 同 九月 下旬 神道青年四国地区協議会
- 同 九月 下旬 第二回 役員会(高知)
- 同 初詣啓発ポスター発送作業(愛媛県神社庁)
- 同 第六回 役員会(愛媛県神社庁)
- 同 第二十五回 親月神楽の夕べ
- 同 十月 二十四日 第七回 役員会(南予)
- 同 十一月 二十一日 第八回 役員会(中予)
- 同 第二回 勉強会
- 同 十一月 二十五日 三島森田両烈士慰霊祭
- 同 十二月 三・四日 再発足三十五周年事業 御所清掃奉仕
- 同 十二月 会報「若竹・第四十九号」発刊
- 同 十二月 神道青年四国地区協議会
- 同 第三回 役員会(徳島)
- 同 神道青年四国地区協議会
- 同 第九回 役員会(国際ホテル松山)
- 同 第一回 役員会(国際ホテル松山)
- 同 第十回 役員会(東予)
- 同 第三回 勉強会
- 同 三月 二十九日 再発足三十五周年事業 愛媛の伝統文化IN道後
- 同 三月 第十一回 役員会(中予)
- 同 神道青年全国協議会 中央研修会(千葉)
- 同 慰問神楽
- 同 未定

【地区協】

【地区協】

【地区協】

【神青協】

※その他、役員会にて議案審議

愛媛県神道青年会  
平成19年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日

## 歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	800,000	600,000	△ 200,000	年会費・新年互礼会費他
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,300,000	1,300,000	0	県内神職寄付金・事業援助金
4 雑収入	177,311	160,437	△ 16,874	神青協事業還付金・事業収入
5 繰越金	432,689	689,563	256,874	平成18年度より
歳入合計	2,910,000	2,950,000	40,000	

## 歳出の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会議費	750,000	500,000	△ 250,000	役員会・新年互礼会他
2 研修教化	550,000	675,000	125,000	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修参加助成他
3 事業費	400,000	600,000	200,000	初詣啓発ポスター・床几頒布事業
4 広報費	250,000	320,000	70,000	若竹発刊「第47号」・「第48号」・「第49号」
5 事務費	150,000	120,000	△ 30,000	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	350,000	300,000	△ 50,000	神青協総会・神青協役員旅費補助他
8 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔金・電報代
9 分担費	305,000	290,000	△ 15,000	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	20,000	10,000	△ 10,000	
12 予備費	25,000	25,000	0	
歳出合計	2,910,000	2,950,000	40,000	

歳入合計 2,950,000 円

歳出合計 2,950,000 円

差引残高 0 円

平成19年4月16日 愛媛県神道青年会役員会提出

【助成金】

金壹拾萬圓也

愛媛県神社庁殿

〔平成十八年度寄付助成〕芳名・順不同

東予地区

金壹拾萬圓也

石鎚神社

金伍萬圓也

大山祇神社

金參萬圓也

一宮神社

神社庁

金貳萬圓也

周敷神社

石岡神社

金壹萬圓也

伊曾乃神社

多伎神社

姫坂神社

橘新宮神社

白山神社

石鎚神社

高尾神社

村山神社

今宮神社

嘉母神社

飯積神社

玉生八幡神社

十亀 興美 殿

三島 喜徳 殿

矢野 哲夫 殿

新居支部 殿

伊佐芹 重廉 殿

越智 基晃 殿

井上 千賀司 殿

沼崎 守文 殿

沼崎 守文 殿

高橋 佳幹 殿

大岡 忠臣 殿

武智 正人 殿

玉井 忠素 殿

榊田 嘉津雄 殿

佐藤 伊都男 殿

石川 漠見 殿

葛城 光彦 殿

平田 彰 殿

金壹萬圓也

潮早神社

風伯神社

堀江神社

須賀神社

三島神社

熊野神社

大井八幡大神社

大浜八幡大神社

生名八幡神社

金伍仟圓也

奈良原神社

碓掛天満宮

八幡宮

八幡大神社

荒神社

三皇神社

大西神社

喜多浦八幡大神神社

高浜八幡神社

石土神社

金參仟圓也

岩城八幡神社

弓削神社

土居神社

上分神社

浅海 宜英 殿

矢野 正實 殿

合田 千里 殿

藤原 豁博 殿

垂水 隆昌 殿

田邊 捷 殿

檜部 浄文 殿

桧垣 壮次 殿

西村 純子 殿

馬越 紀久江 殿

小池 清史 殿

合田 正士 殿

安藤 潔 殿

越智 基 殿

熊本 真克 殿

及川 徹也 殿

馬越 祥穂 殿

龜山 和磨 殿

長 敏康 殿

八原 敬陸 殿

川原 啓三郎 殿

矢野 耕一郎 殿

熊本 真克 殿

中予地区

金壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金伍萬圓也

愛媛縣護國神社

金參萬圓也

神社庁

神社庁

金貳萬圓也

神社庁

大宮八幡神社

嚴島神社

金壹萬四仟圓也

早虎神社

金壹萬圓也

雄郡神社

桑原八幡神社

三嶋大明神社

金刀比羅神社

高家八幡神社

忽那島八幡宮

勝岡八幡神社

金刀比羅神社

波賀部神社

井手神社

高縄神社

八幡神社

湊三嶋大明神社

日尾八幡神社

長曾我部延昭殿

波爾 莊 殿

松山支部

伊予支部 殿

久万支部

眞鍋 和敏 殿

柳原 幸 殿

立野 好仁 殿

高市 誠司 殿

石丸 典良 殿

武智 和子 殿

山下 幸志 殿

都子野 清明 殿

大宮 信篤 殿

武智 輝子 殿

大谷 伸二 殿

武智 彰宏 殿

横田 貞子 殿

正岡 重岩 殿

小野 哲也 殿

渡部 定詔 殿

三輪田 元敬 殿

金七萬圓也	和靈神社	金式萬圓也	神社庁八西支部
南予地区	新田八幡神社	新田神社	立石神社
八坂神社	伊曾能神社	三島神社	廣田神社
諸山積神社	若宮八幡神社	三島神社	三島神社
三島神社	三島神社	三島神社	三島神社
當田八幡神社	當田八幡神社	額田重則殿	高市俊次殿
武智啓殿	武智隆殿	権名津隆殿	三好捷三殿
武智昭彦殿	武智盛明殿	玉井貞臣殿	武市盛幸殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
星野萬四郎殿	玉井次明殿	重松讓殿	田内逸武殿
武智成保殿	別府相房殿	能田信益殿	能田重則殿
高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿

金七萬圓也	和靈神社	金式萬圓也	神社庁八西支部
南予地区	新田八幡神社	新田神社	立石神社
八坂神社	伊曾能神社	三島神社	廣田神社
諸山積神社	若宮八幡神社	三島神社	三島神社
三島神社	三島神社	三島神社	三島神社
當田八幡神社	當田八幡神社	額田重則殿	高市俊次殿
武智啓殿	武智隆殿	権名津隆殿	三好捷三殿
武智昭彦殿	武智盛明殿	玉井貞臣殿	武市盛幸殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
星野萬四郎殿	玉井次明殿	重松讓殿	田内逸武殿
武智成保殿	別府相房殿	能田信益殿	能田重則殿
高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿

金七萬圓也	和靈神社	金式萬圓也	神社庁八西支部
南予地区	新田八幡神社	新田神社	立石神社
八坂神社	伊曾能神社	三島神社	廣田神社
諸山積神社	若宮八幡神社	三島神社	三島神社
三島神社	三島神社	三島神社	三島神社
當田八幡神社	當田八幡神社	額田重則殿	高市俊次殿
武智啓殿	武智隆殿	権名津隆殿	三好捷三殿
武智昭彦殿	武智盛明殿	玉井貞臣殿	武市盛幸殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿	都築芳憲殿
星野萬四郎殿	玉井次明殿	重松讓殿	田内逸武殿
武智成保殿	別府相房殿	能田信益殿	能田重則殿
高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿	高市俊次殿

～愛媛県神道青年会主催～

## 『第4回野外体験親睦会 石鎚山登拝』

- 【と き】 平成19年8月18日(土)赤口 ～ 19日(日)先勝
- 【と ころ】 西条市(石鎚山登拝)
- 【趣 旨】 四国の屋根であり、日本七霊山の一つに数えられる石鎚山。  
大自然あふれる西日本最高峰の山に登り、参加者全員で石鎚神社頂上社に参拝することにより、会員相互の親睦はもとより会員の家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。
- 【参加資格】 愛媛県神道青年会役員・会員・OB、またその家族・子弟、当県神社界に携わる者。
- 【概 要】 8月18日 午前11時  
場 所 石鎚神社土小屋遙拝殿  
(石鎚スカイライン終点)に集合。  
午後5時 石鎚神社頂上社参拝 頂上山荘に宿泊。  
8月19日 午前5時 起床(御来光時)  
午後1時 閉会
- 【注意事項】 宿泊場所に多少不便をおかけするとは思いますがご了承下さい。また会費を超える予算の取り扱いについては参加者全員での分担となります事をご理解下さい。尚開催地までの交通費は自己負担となります。
- 【必要経費】 参加費未定  
目安は 大人1人 6,000円 小学生以下1人 2,000円
- 【その他】 愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作上げる行事でございますので皆様の寛大な心でのご協力をお願い申し上げます。  
お子様の参加に関しましては、健脚なお子様なら参加可能ですが親御さんが責任を持って登られる様お願い致します。  
登山で必要と思われる物(水筒、登山に適した靴、カップ、着替え、タオル、保険証、その他必要と思われる物)は各自ご持参下さい。
- 【参加申し込み】  
締め切り日は7月20日とします。出来るだけ早めをお願いします。  
別紙のFAX用紙にてお申し込み下さい。  
FAX 0894-54-0849 阿部茂之

【お問い合わせ】

実行委員長

阿部茂之 090-9555-1689

※順次、最新情報を青年会ホームページに掲載いたしますのでご確認下さい。

<http://www.ehimeshinsei.net/>

※台風、災害等、安全確保出来ない状況の場合は中止とさせていただきます。



# 新入会員紹介

新入会員で先般の総会出席者二名

伊佐爾波神社 禰宜

野口貴令



國學院大學神道文化学部の第一期の卒業生で、現在、道後の伊佐爾波神社に禰宜として奉職しております。若輩者ですが宜しくお願い致します。

伊豫豆比古命神社 出仕

宇都宮 宗平



四月より伊豫豆比古命神社に奉職させていただいております。愛媛の地で多くのことを学びたく存じますので、御指導の程宜しくお願い致します。

大山祇神社 権禰宜

藤本 崇

矢矧神社 禰宜

田窪 伸吉

計四名の新入会員です。

神社界の諸問題、並びにその他の社会問題に関心を持って頂き、斯界の尖兵として、共に学び励んで頂きますようお願い致します。先ずその前に、青年会の諸行事に出来るだけ参加戴き、先輩諸賢はもとより我々同世代の神職と親睦を深めて頂きたいと存じます。共にごんばりましよう。



# 青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会の年を迎えられました先輩方をご紹介致します。

伊豫豆比古命神社 権禰宜

眞鍋 豊孝 様

原八幡大神社 宮司

矢野 敬陽 様

今宮神社 禰宜

佐藤 学 様

堀江神社 権禰宜

合田 知由 様

三島神社 禰宜

武智 仁志 様

三島神社 禰宜

久保田 啓二様

永年に亘り当会の活動にご尽力賜りまして誠に有難う御座いました。会員一同感謝申し上げます。

今後も尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう御願ひ申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

理事 櫛部 浄之

優

去る三月十二日。石鎚神社 十亀興美宮司御夫妻の御媒酌のもと、大井八幡大神社に於いて結婚の儀を執り行いました。神職として一層の精進をして参りますので御指導の程、宜しくお願い申し上げます。



## 【勉強会のご案内】

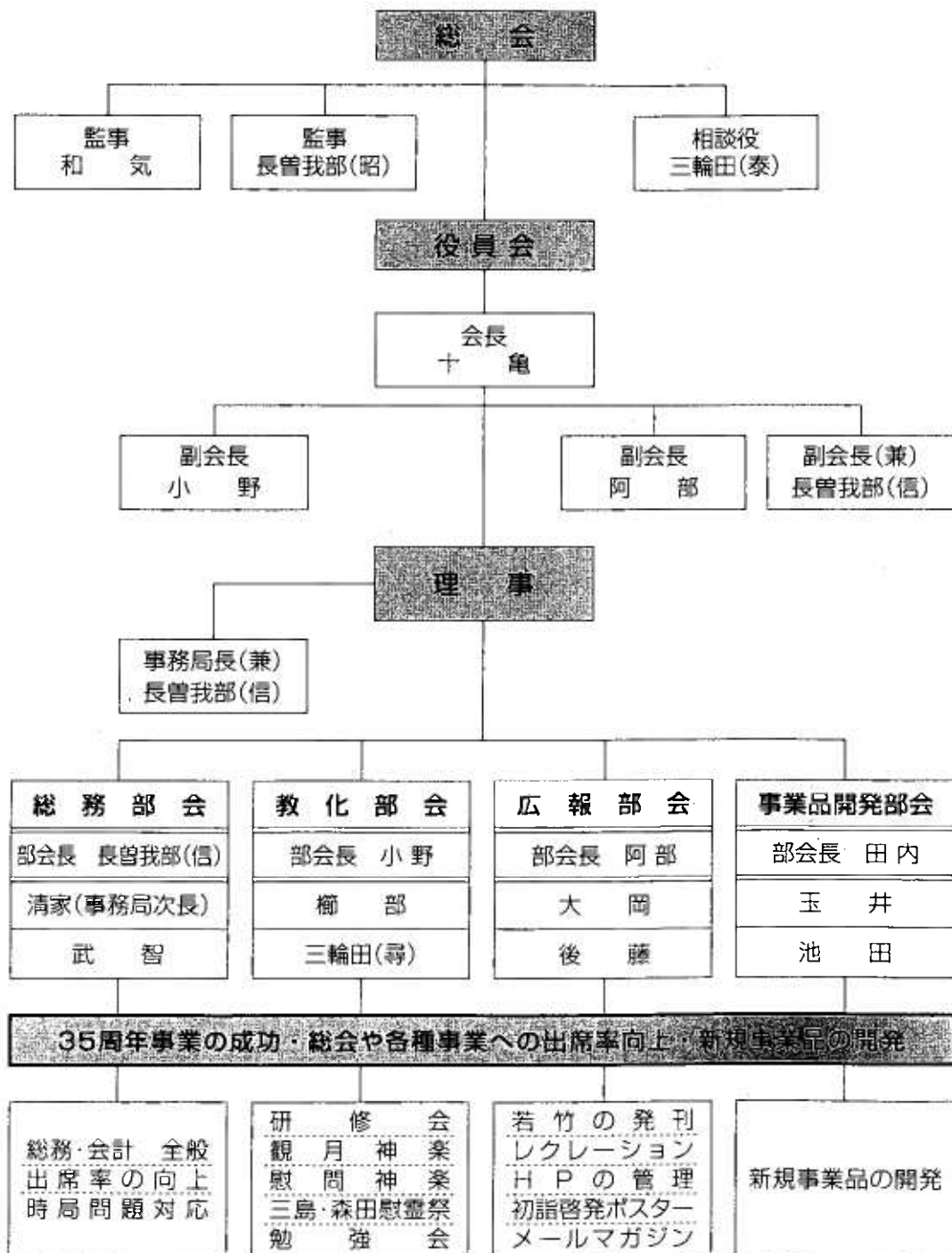
冒頭の会長挨拶にもありましたように、今年度から、愛媛県神道青年会では新たな試みとして、青年神職の更なる研鑽のため、東予・中予・南予の三地区で勉強会を開催します。兼職で普段青年会の諸活動に出席がかなわない方にも参加して頂きたい為、夕方からの開催を予定しております。詳細な内容、日時等につきましては、HP等で随時お知らせして参ります。多数の会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

## 【編集後記】

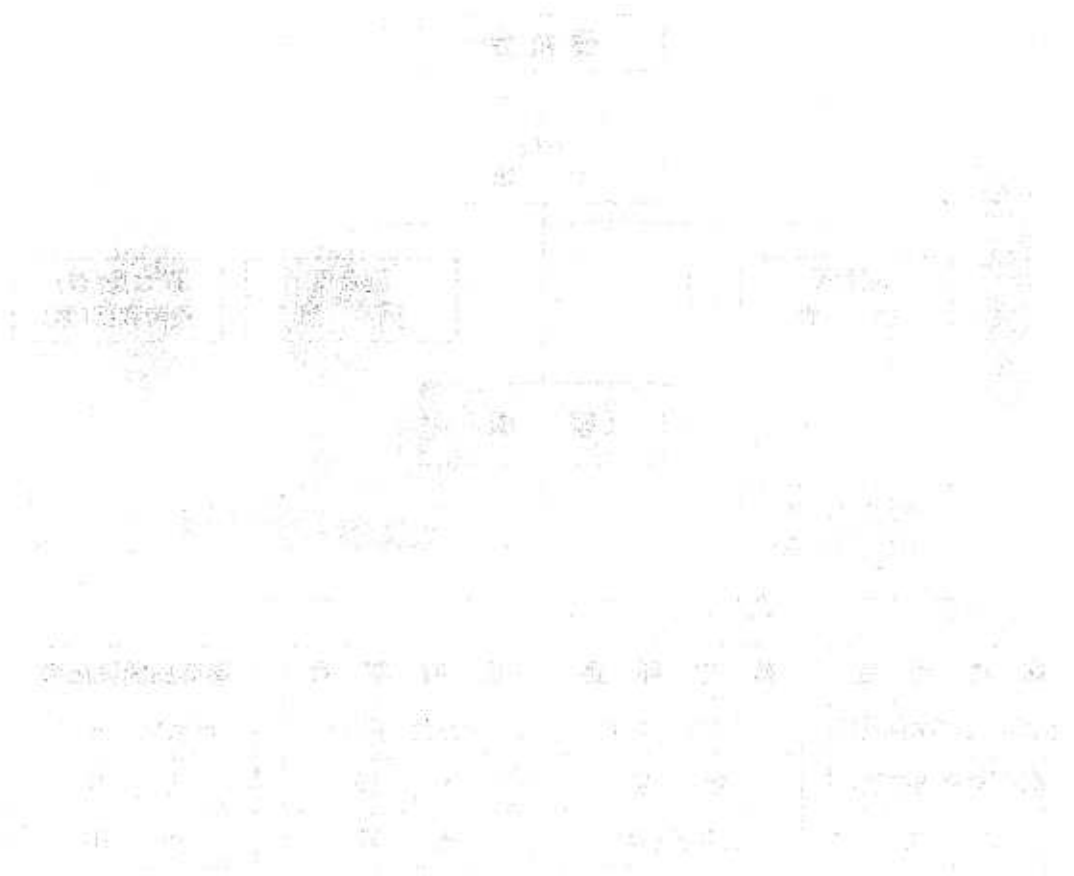
今号の若竹から編集担当になりました広報部会の後藤と申します。慣れない作業に併せてパソコン不得手でございますので、社務よりもこちらに時間を取っている日々でございます。これから全国に於いても恥ぢない会報として、以前より一層内容の充実を図り、会員増加にも役立つ紙面に出来ればと考えております。会長を中心に役員一同、心を一つに力を合わせて身も心も研鑽していく所存でございますので、御指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



**平成19年度  
愛媛県神道青年会 組織図**



臺灣省立教育行政人員訓練所  
附屬 社會科教學法研習會



本會宗旨：研究社會科教學法，提高教學品質，促進教育行政人員之專業發展。

本會設址：臺南市○○○路○○○號  
電話：○○○-○○○○○○